

豊かに学ぶ

特集—府中市生涯学習センター

府中市生涯学習センターは、東京都府中市の平和の森公園に隣接する。明るく開かれた森と施設は舗道の並木でゆるやかにつながり、生い茂る緑を抜けて、たくさんの市民が学ぶ楽しみを胸に今日もここを訪れる。



Fuchu City Lifelong Learning Center



武蔵野の杜に抱かれた 木漏れ日の学び場



緑と文化があふれるまち

府中市は東京都のほぼ中央に位置し、2016年現在26万人が暮らしている。市内に広がる住宅地には計画的に公園が配置され、落ち着いた生活の地としての環境が整っている。また、美術館や博物館などの施設が充実し、文化・芸術に触れる機会も数多く提供されている。

多種多様な学びの拠点



写真左：版画室では、木版画、銅版画、シルクスクリーンなどを製作できる
写真中：多くの人が利用する図書館。蔵書数は約4万冊
写真右：大きな窓から光が差し込むレストラン

府中市では「生涯学習の機会創出事業」を重点プロジェクトとして掲げている。

「市民が育てる文化・芸術のまちづくりを進めています。生涯学習センターは、この事業を推進する上での拠点です。ここで活動が、市全体へと波及していくことを狙っています」と、府中市文化スポーツ部の沼尻課長は話す。

府中市生涯学習センターには、講堂、図書館、会議室、研修室、宿泊施設などが設けられている。市内の美術館で開催する企画展の絵画と作家について勉強する市民講座や、

市のグラウンドを使った少年野球の合宿など、他施設と連携しての利用もされている。

「施設と機会を広く市民に提供し、多種多様な学びを経験できる場でありたいと思っています」と、沼尻課長が話すように、陶芸窯や版画プレス機などの専門機材を備えた美術室や工房もあり、これらは講座で利用するほか、市民団体のサークル活動で使用される。さらに、体育館、温水プール、ジムなどのスポーツ施設や音楽スタジオも充実し、市民の多様なニーズに応える態勢が整っている。

府中市生涯学習センター



鹿島建物管理概要

管理開始 2013年4月1日
管理内容 設備管理業務
主要用途 総合学習スポーツ施設
設施管轄 (株)類設計室一級建築事務所
施工 大林組JV
面積 建築面積 6,073.14m²
敷地面積 10,123.67m²
構造 延床面積 20,382.75m²
RC造

建築概要

施設名称 府中市生涯学習センター
所在地 東京都府中市浅間町1-7
主要用途 総合学習スポーツ施設
設施管轄 (株)類設計室一級建築事務所
施工 大林組JV
面積 建築面積 6,073.14m²
敷地面積 10,123.67m²
延床面積 20,382.75m²
構造 RC造

主要設備概要

電気設備 高圧 6.6kV 1回線受電
設備容量 2,550kVA
非常用発電機 375kVA
空調設備 热源 ・灯油焚冷温水発生器 240RT×2基、185RT×2基
・真空ボイラ 630,000kcal/h×1基、600,000kcal/h×1基
空調 ・単一タクト個別方式 13台
・ファンコイル：地下ホール、2～4共用部、研修室、音楽室、図書館、自習室、語学室、パソコン学習室、美術室、版画室、陶芸室、工作室、工房1・2
・空冷マルチ：宿泊室（最大宿泊者数69名）、大浴場、小浴場、洋室ツイン8室、和室4室（42畳1室、24畳1室、10畳2室）
衛生設備 市水受水槽 94m³×1基
雑用水槽 180m³×1基
特殊設備 ブール用塩素製造機 MIOX（マイオックス）（塩から塩素製造）

学び、 学び返しのサイクル

市民が主役となる活動

府中市が掲げる生涯学習の中心となるのは「学び返し」という活動である。学びを得た市民が、次は教える側となって知識を伝える。その繰り返しによって、地域全体の意識が向上していくことをめざしている。

「市の役割はきっかけをつくることで、生涯学習の主役は市民です。積極的に学びに関わり、市民同士の輪を広げてほしいと考えます」

生涯学習センターでは、講座を受講した市民が自発的にサークルを立ち上げて学びを継続し、さらにボランティアとして教える側に回る「学び返し」の実践が各所で見られる。

この日行われていた陶芸教室の講師の女性は、かつて生涯学習センターで開かれていた入門講座で陶芸の魅力を知ったという。その楽しさを伝えたくて、講師のボランティアをしていると話してくれた。市民が企画する小学生向けの講座やウェブライター養成講座なども好評で、世代を超えた交流が行われている。

学びがつくる豊かな暮らし

開館から24年目を迎え、生涯学習センターは子供から高齢者まで、多くの利用者で賑わっている。

「構えず気軽に普段着で来られる施設として、市民に定着していると感じています。施設全体で、さらに市全体で、学びのサイクルを自転させていきたいと思っています」と沼尻課長は話す。

府中市生涯学習センターは、緑あふれる環境で健康維持の手助けをし、文化的な要求と社会参加のよろこびに応える拠点として、豊かな市民生活を支えている。



市民の日ごろの生涯学習の成果を発表する場として、毎年9月に実施される府中市生涯学習フェスティバル。ワークショップや作品発表会などが行われ、延べ1万人もの市民が参加する

生活に密着した施設であり続ける

生涯学習センターでは、2013年度から指定管理者による運営・管理が行われている。統括管理は「コンベンションリンクージ」、スポーツ施設の運営管理は「住友不動産エスフォルタ」、維持管理は「鹿島建物」が、三社の共同体を構成しそれぞれの得意分野で力を発揮している。その効果を、沼尻課長はこう話す。

「指定管理者制度導入以降、民間ならではの改善提案をいただいている。事務室を改修したスタジオの増設や、案内カウンターをアトリウム中央に配置して“おもてなし玄関”とするなどの柔軟なアイデアは、以前はなかったものです。鹿

島建物さんからいただいた省エネの提案でも明確な効果があり、設備管理のプロの力を感じました」

竣工から23年が経過した生涯学習センターでは、老朽化に伴う課題を抱えている。利用者への影響を考慮し、三社がそれぞれの分野で、プロとして最善の対応をとることが求められる。

「指定管理者の各社には、講座等の各種事業の拡充や、より効率的な施設運営で市民の利用促進を図っていただきたい。この施設が生涯学習活動に密着した施設であり続けられるよう、市民のニーズに合致した施設運営をともに行っていきたいと考えています」



府中市 文化スポーツ部
次長（兼）生涯学習スポーツ課長
沼尻 章様



指定管理者の視点から



統括管理 常に新しい学びの企画づくりを

これまで、講座の拡充、開館日の増加、受付の見える化、季節に合わせた館内装飾など、数々の提案と施策を行ってきました。レストランを使った講座やロビーコンサートなどのイベントも実施しています。これからも市民の方に「常に何かやっている」と興味を持ってもらえるような企画づくりを積極的に行い、利用者からのフィードバックを参考に、改善を重ねていきたいです。



近隣の施設で上演されたオペラを題材に企画した講座の様子

写真右から
府中市生涯学習センター 指定管理者 ふちゅう生涯学習センター共同事業体
代表団体 株式会社コンベンションリンクージ 館長 石田 譲朗様

府中市 文化スポーツ部 次長（兼）生涯学習スポーツ課長 沼尻 章様

府中市生涯学習センター 指定管理者 ふちゅう生涯学習センター共同事業体
住友不動産エスフォルタ株式会社 マネージャー 笹野 秀様

府中市生涯学習センター 指定管理者 ふちゅう生涯学習センター共同事業体
鹿島建物総合管理株式会社 管理事務所長 村上 貢

スポーツ施設運営管理 市民の健康センター役として

私たちは、コミュニケーションを何より心がけています。日々の体力増進を目的に通っている高齢者の方には、生活に活かせる身体の動きを取り入れて教えています。また、ハンディをお持ちの方にも利用しやすい施設ですので、効果的に活用してもらえるよう、個人にあわせたアドバイスをしています。日常の健康づくりの場として、すべての市民が使いやすいスポーツ施設を維持していきます。



スポーツ講座では、空手やヒップホップ、ヨガ、肩こり・腰痛の予防を目的とした体操など、幅広いプログラムを用意している

維持管理 工夫を重ねた独自の維持管理

維持管理の範囲でできることはどんどん工夫して実施していきたいと考えています。2年目からは、約500灯ある館内の照明器具を、すべて省エネ型のものに交換しました。今年の2月に完了し、効果を測定したところ、使用電力を22パーセント削減することができました。設備や機器は老朽化が進みつつあるので、今後は、トラブルを未然に防ぐメンテナンスを特に心がけます。



施設の廊下は作品展示にも利用される。省エネ型電球の導入でより明るくなり、さらに電力の削減につながった

豊かな環境づくりのパートナー

「どんな場面でも利用者の目になって確認する」これが私のモットーです。設備機器の管理だけでなく、プールの水質管理や宿泊施設のチェックアウト点検など、仕事は多岐にわたりますが、安全・安心・快適に利用していただくための環境を整えるという目的は同じです。訪れる市民の方々に豊かな学びの時間を過ごしていただけるよう、環境をまもっていきます。

